

第 2 回検討会までの協議経過について

1. 婦人科救急医療の現状と課題について

救急患者の多くは一次救急であるが、受け入れる医療施設が少ないため、特定の医療施設に紹介・搬送が集中している。

(1) 消防局による救急搬送(第 2 回検討会資料より)

ア 婦人科救急搬送者数

年 度	平成 23 年	平成 22 年	平成 21 年	平成 20 年
人 数	436 人	464 人	398 人	390 人

イ 平成 23 年の主な搬送先医療機関(20 人以上搬送)

H病院(118 人), b 病院(48 人), F 病院(45 人), I 病院(33 人),
D 病院(29 人), E 病院(23 人)

(2) 福岡県救急医療情報センターによる紹介(※受診者数ではない。)

(第 1 回検討会資料より)

ア 平成 23 年度の紹介件数(産婦人科 701 件, うち婦人科 230 件)

イ 平成 23 年度の主な紹介先医療機関(産婦人科 30 件以上紹介)

福岡市立急患診療センター(267 件), H病院(123 件), a クリニック(43 件),
D 病院(37 件)

(3) 福岡市立急患診療センターの診療実績(第 1 回検討会資料より)

年 度		平成 23 年	平成 22 年	平成 21 年	平成 20 年
人 数	一次診療	565 人	579 人	306 人	614 人
	委託先二次 医療機関	1 人	6 人	2 人	2 人
	その他の 医療機関	15 人	19 人	11 人	11 人

・委託先二次医療機関

(急患診療センターからの二次診療を委託している有床診療所)

・その他の医療機関

(上記以外の医療機関(A病院, B病院, C病院, E病院, F病院, H病院,
G病院)

2. 今後の対応策について

(1) 救急医療協議会へ「平日夜間は急患診療センターで対応することが望ましい」ことを提言する。

(2) 新こども病院の産科病床の増床について, 引き続き福岡県に働きかけていく。

(3) 不急患者の受診抑制や救急車の適正利用について, 啓発手法を検討していく。